

施設カルテ

施設番号: 536

施設名: 別府市西部地区体育館

施設の概要	所在地	大字南立石2139番地の15				運営形態	直営(一部委託を含む)					
	所属課	社会教育課				年間運営日数(日)	358.00					
	利用圏域	地区				運営時間 ^{※1}	開館	09:00	閉館	22:00		
	コミュニティ区分	中部				運営人員(人) ^{※2}	正職員			任用職員	5.00	
	施設用途	スポーツ・レクリエーション系施設					その他					
	中分類	スポーツ施設				指定管理者・委託者等						
	設置目的	地域住民の健康増進並びに競技力向上の場を提供するとともに、社会体育を推進するため設置された。中学校の部活動やミニバレー、卓球、剣道、空手などに利用されている。				防災拠点施設指定	指定なし					
	設置条例	別府市公民館条例				最寄りの類似施設	施設名			距離(m)		
	施設の現況	開設年月日:S59.4.1/主な利用者:市民/用途地域:第二種住居地域/標高:103/駐車可能台数:37				外観						
	建設費(円)	85,180,000										
	取得価額等(円)	123,480,000										
	補助金額(円)											
減価償却累計額(円)	105,945,840											
老朽化比率	85.80%											
施設概要	危険区域等の有無:噴火(鶴見岳) 避難所の指定:津波/地震/洪水/土砂/噴火(伽藍岳)/高潮											
土地情報	敷地面積(m ²)	1,219.99										
	所有区分	公有										
建物状況	名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況 ^{※3}	新耐震基準 ^{※4}	耐震化状況	バリアフリー状況	
	西部地区体育館	鉄筋コンクリート	1		686.00	1984/02/29(築39年)	47	老朽化が進行している	○		一部対応している	
スペース構成の状況	名称	利用料収入(円/年)	延床面積(m ²)	年間利用者数(人/年)	利用目的別 利用者内訳(人/年)					利用状況	稼働率(%)	備考
					主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			
	体育館	1,508,371	686.00	13,558						目的使用	45.00	1970/4380

※1: 24時間の場合は0:00~23:59と表記している
 ※2: 業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している
 ※3: 稼働年数が耐用年数の
 1/3未満 : 問題なし
 1/3以上2/3未満: 老朽化対策の検討が必要
 2/3以上 : 老朽化が進行している
 ※4: 1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを○とする

施設カルテ

施設番号: 536

施設名: 別府市西部地区体育館

収入の状況		項目	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	利用状況		項目	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
収入	収入	施設使用料収入	883,000	1,969,660	1,508,371	利用者	利用者	12,944	15,627	13,558	
		財産貸付料収入・目的外使用料収入	0	0	0						
		負担金	0	0	0						
		その他の収入	0	0	0						
収入合計(円)			883,000	1,969,660	1,508,371	年間利用者数(人)			12,944	15,627	13,558
支出の状況	直営人に係る支出	人件費	0	0	0	収支と利用者数の推移					
		光熱水費	0	0	0						
	直営施設に係る支出	工事請負費・修繕料	108,000	140,800	4,097,500						
		土地・建物の賃借料	0	0	0						
		土地・建物以外のリース料	0	0	0						
		施設・設備管理委託料	0	0	0						
		施設に係るその他	0	0	0						
	直営事業運営に係る支出	事業委託費	0	0	0						
		事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0						
	指定管理料	事業運営に係るその他	0	0	0						
		指定管理料	0	0	0						
	支出合計(円)			108,000	140,800		4,097,500				
利用者1人あたりのコスト(円/人)			8	9	302	リーダーチャート	<p>老朽化状況についての判断方法</p> <p>建物状況の老朽化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『問題なし:3点』 『老朽化対策の検討が必要:2点』 『老朽化が進行している:1点』 『未登録:0点』</p>				
1㎡あたりのコスト(円/㎡)			157	205	5,973		<p>耐震化状況についての判断方法</p> <p>新耐震基準が「○」の場合は3点とし、それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『耐震化状況 実施済:3点』 『耐震化対策中:2点』 『耐震化対策が必要:1点』 『未登録:0点』</p>				
稼働日あたりのコスト(円/日)			302	393	11,446		<p>バリアフリー状況についての判断方法</p> <p>建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『全対応:3点』 『一部対応:2点』 『未対応:1点』 『未登録:0点』</p>				
支出に対する収入の割合			817.59%	1398.91%	36.81%		<p>避難所指定についての判断方法</p> <p>避難所指定の建物がある場合は3点とし、ない場合は1点とする。</p>				
減価償却費(円)			2,716,560	2,716,560	2,716,560		<p>最寄りの類似施設の有無についての判断方法</p> <p>最寄りの類似施設がない場合は3点とし、ある場合は1点とする。</p>				
減価償却費を含む支出合計(円)			2,824,560	2,857,360	6,814,060						
減価償却費を含む支出に対する収入の割合			31.26%	68.93%	22.14%						